

平成29年6月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,632,648</b>	<b>196,449</b>	<b>589,880</b>	<b>22.4%</b>	<b>2,042,768</b>		
1. 営業収益	2,271,430	192,650	577,867	25.4%	1,693,563		
1. 給水収益	2,243,160	191,923	576,104	25.7%	1,667,056		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	727	1,763	6.2%	26,507		
2. 営業外収益	360,854	3,799	12,013	3.3%	348,841		
3. 特別利益	364				364		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,543,341</b>	<b>80,428</b>	<b>199,773</b>	<b>7.9%</b>	<b>2,343,568</b>	<b>606,184</b>	<b>23.8%</b>
1. 営業費用	2,291,121	80,390	199,658	8.7%	2,091,463	606,068	26.5%
1. 原水及び浄水費	483,842	29,977	70,419	14.6%	413,423	248,067	51.3%
2. 配水費	291,465	20,004	56,727	19.5%	234,738	118,601	40.7%
3. 給水費	113,124	7,314	14,354	12.7%	98,770	31,310	27.7%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,165	13,637	27,152	16.7%	135,013	147,624	91.0%
6. 総係費	163,592	9,457	31,006	19.0%	132,586	60,467	37.0%
8. 減価償却費	1,026,833				1,026,833		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	230,415				230,415		
3. 特別損失	1,805	38	115	6.4%	1,690	115	6.4%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,820,621</b>	<b>1,979</b>	<b>4,624</b>	<b>0.3%</b>	<b>1,815,997</b>		
1. 企業債	1,069,400				1,069,400		
2. 負担金・補償金	297,951	824	1,449	0.5%	296,502		
3. 補助金	133,293				133,293		
4. 出資金	309,555				309,555		
5. 加入金	10,422	1,156	3,175	30.5%	7,247		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,050,300</b>	<b>6,650</b>	<b>12,162</b>	<b>0.4%</b>	<b>3,038,138</b>	<b>877,430</b>	<b>28.8%</b>
1. 建設改良費	2,368,052	6,650	12,162	0.5%	2,355,890	877,430	37.1%
1. 取水施設整備費	827,307				827,307	501,660	60.6%
2. 導水施設整備費	17,820				17,820		
3. 浄水施設整備費	190,018				190,018	10,735	5.6%
4. 送水施設整備費	122,713				122,713	78,840	64.2%
5. 配給水施設整備費	1,205,334	6,650	12,162	1.0%	1,193,172	286,195	23.7%
6. 消防設備整備費	4,860				4,860		
2. 企業債償還金	682,248				682,248		
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,324</b>	<b>1,755</b>	<b>3,305</b>	<b>7.0%</b>	<b>44,019</b>	<b>3,305</b>	<b>7.0%</b>
①有収水量	7,914,100	673,004	2,013,539	25.4%	5,900,561		
②供給単価	283.44	285.17	286.12	100.9%	△ 2.68		
③給水原価	321.14	119.45	99.16	30.9%	221.98		
<b>人件費</b>	<b>236,921</b>	<b>25,630</b>	<b>57,291</b>	<b>24.2%</b>	<b>179,630</b>		
1. 収益的収支	196,637	19,073	45,416	23.1%	151,221		
1. 職員給与費	195,857	19,044	45,207	23.1%	150,650		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	780	29	209	26.8%	571		
2. 資本的収支	40,284	6,557	11,875	29.5%	28,409		
* 職員給与費	236,141	25,600	57,082	24.2%	179,059		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	9.9%	7.8%				
2. 全職員	10.5%	13.3%	9.9%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>44,943,525</b>	<b>44,955,662</b>	<b>12,137</b>	
*減価償却累計額	18,794,440	18,794,440		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,292,328</b>	<b>3,469,034</b>	<b>176,705</b>	
1. 現金預金	2,594,861	2,839,416	244,555	
2. 未収金	576,010	260,507	△ 315,503	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,572	31,491	△ 2,081	
5. 前払費用・前払金	87,886	326,482	238,596	工事前払金等
6. その他		11,138	11,138	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>188,905</b>	<b>188,905</b>	
1. 営業費用		188,799	188,799	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		107	107	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,182,839</b>	<b>377,747</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,805,204</b>	<b>11,808,703</b>	<b>3,498</b>	
1. 企業債	11,537,770	11,541,269	3,498	
2. 引当金	267,434	267,434		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,064,366</b>	<b>887,884</b>	<b>△ 176,482</b>	
1. 企業債	682,244	678,746	△ 3,498	H29年度償還元金
2. 未払金	219,482	14,558	△ 204,924	
3. 前受金	148,062	148,045	△ 17	
4. 引当金	14,186		△ 14,186	*賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	46,535	46,143	
うち仮受消費税		43,773	43,773	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,746,416</b>	<b>9,750,805</b>	<b>4,389</b>	
1. 長期前受金	9,746,416	9,750,805	4,389	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,569,237		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,178,427</b>	<b>10,178,427</b>		
1. 自己資本金	10,178,427	10,178,427		*固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>215,737</b>	<b>215,737</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		*非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837	192,837		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>546,342</b>	<b>546,342</b>	
1. 営業収益		535,193	535,193	
2. 営業外収益		11,150	11,150	
3. 特別利益				
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,182,839</b>	<b>377,747</b>	
a. 供給単価 (円、銭)	264.92	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	93.70	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	249.80	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	76.43%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	85.36%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	390.65%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	319.80%	=現金預金÷流動負債		

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 平成29年 6 月期 業務実績報告書(水道管理課)

## 一 般 事 項

### 1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,670	92,095	92,700	92,271	△605	△176
2 調定量	m <sup>3</sup>	668,748	2,000,787	2,005,000	2,019,458	△4,213	△18,671
3 調定料金(税抜)	円	177,706,130	533,429,884	529,000,000	538,172,136	4,429,884	△4,742,252
4 口振加入件数	件	25,342	75,970	-	76,463	-	△493

### 2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,722	-	81,722	0
6 給水件数	件	30,442	-	30,558	△116
7 開栓処理件数	件	228	1,101	1,115	△14
8 閉栓処理件数	件	282	925	887	38
9 給水工事設計審査	件	43	148	180	△32
10 給水工事竣工検査	件	85	227	344	△117
11 経年メーター交換	件	524	829	1,230	△401
12 メーター口径変更	件	3	8	14	△6
13 月末停止件数	件	3	4	4	0

### 3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	201,160,529 円	65.09 %	204,234,450 円	64.88 %
15 過年度分	5,896,651 円	96.86 %	6,201,683 円	96.80 %
16 全 体(計)	207,057,180 円	-	210,436,133 円	-

### 4 給水装置工事指定業者(市外3社追加)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	122	227

### 5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	13/13	33/33	7/7	11/11	2/2	7/7	0/0	3/3	4/4	12/12	0/0	0/0
契約締結	一般	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0
	指名	10	26	5	7	2	7	0	1	3	11	0
	随契	2	5	1	2	0	0	0	2	1	1	0
	合計	13	33	7	11	2	7	0	3	4	12	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計 0/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

### 6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	0	0	
中間検査	1	0	
合 計	1	0	

### 7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	5日	6月 事業打合せ等
事業調整会議	5日	第3回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	13日	第3回 行事計画、日程調整等
水道事業連絡会議	14日	第3回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
水道ブスター会議	16日	6月期 熟練職員講話
給水拠点設置訓練	21日	6月期 東和総合支所
経営分析会議	20日	5月期 各種経営分析等
例月出納検査	22日	5月分 例月出納現金検査
指名委員会	8・22日	第5回・第7回
入札会	8・23日	8件・5件
緊急メールの発出	-日	漏水情報6、配信訓練1、水質情報6、取水停止1

## 特 記 事 項

### 1. 6月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ア 収益的収支

当期の給水収益は191,923千円(税込)で、前月期に比べて8,780千円の減で、予算執行率(累計)は25.7%(前年度25.6%)、対前年同月比では3,489千円の減となっています。営業収益は手数料収益727円を含む192,650千円、営業外収益は事務手数料3,746千円を含む3,799千円となりました。

当期の営業費用は80,390千円を執行し、累計額は199,658千円、予算執行率(累計)は8.7%(前年度8.8%)となりました。特別損失では放射性物質検査料38千円を執行しました。

##### イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金824千円、加入金1,156千円を執行し、執行率(累計)は0.3%(前年度9.0%)でした。

支出は、事務費のみで6,650千円を執行し、累計では12,162千円となりなりました。執行率(累計)は0.4%(前年度0.4%)でした。

##### ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,755千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 第59回水道週間「あたりまえ そんなみずこそ たからもの」

毎年、水道週間(6月1日から7日)にあたり、水道事業の理解を深めることを目的に、全国的に多種の事業が展開されています。登米市水道事業所においても市民の皆様とともに様々な行事を行いました。

6月6日(火)には登米幼稚園と登米保育所の園児25名が、いつまでも魚が住めるようなきれいな川であるようにと願いをこめて、北上川にヤマメの稚魚を放流しました。

また、作品コンテストには総数952点の応募があり、作品は部門ごとに審査を行い、優秀作品を全国コンテストに応募します。



園児による稚魚の放流



放流された稚魚

#### 平成29年度作品コンテスト応募状況

	図画	作文	習字	標語	計
小学生	130	2	136	449	717
中学生	27	22	-	186	235
計	157	24	136	635	952
前年度	67	23	199	400	689
比較	90	1	△63	235	263

#### (2) 総務企画常任委員会

6月29日(木)に総務企画常任委員会が開催され、6月定期議会報告の繰越計算書についてと平成29年度水道事業の主要概要について説明を行いました。

#### (3) 第7回施設更新計画策定委員会を開催

平成29年度1回目の第7回登米市水道事業施設更新計画策定委員会を6月13日(火)・14日(水)に開催しました。1日目は「施設の再構築・再配置計画について④」を議題として、浄水場の整備方針・保呂羽浄水場の更新について協議を行いました。2日目は、現状を再確認するため保呂羽浄水場の現地視察を行いました。



施設更新計画策定委員会

#### (4) 登米高校インターンシップを受け入れ

6月28日(水)から30日(金)の3日間、登米高校1年生3名のインターンシップを受け入れました。1日目は保呂羽浄水場見学と作品コンテストの掲示準備、2日目は水道管工事現場の見学とお客様センターで水道メーター管理業務の体験、3日目は水道事業に関する講話と下り松ポンプ場の見学を行いました。生徒達は、業務に対し一つ一つ丁寧に取り組んでいました。



保呂羽浄水場見学

# 平成29年 6月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位:m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	824,636	2,508,600	2,489,030	2,491,890	19,570	16,710
総配水量	769,562	2,358,840	2,354,010	2,388,287	4,830	-29,447
1 有効水量	720,011	2,157,935	2,169,150	2,177,181	-11,215	-19,246
(1)有収水量	673,004	2,013,539	2,017,600	2,032,206	-4,061	-18,667
(2)無収水量	47,007	144,396	151,550	144,975	-7,154	-579
2 無効水量	49,551	200,905	184,860	211,106	16,045	-10,201
(1)漏水量	49,267	200,315	183,000	210,387	17,315	-10,072
(2)その他無効水量	41	128	60	121	68	7
3 有収率	87.45%	85.36%	85.71%	85.09%	-0.35%	0.27%

※当月期の最大配水量は、6日(火)に記録した【27,188m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位:件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	732,256	3	406,609	0	0	325,647	55.5%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	0	0	0	0	17,820	0.0%
ウ 浄水施設整備事業	14	190,018	3	10,735	0	0	179,283	5.6%
エ 送水管整備事業	1	98,010	1	56,430	0	0	41,580	57.6%
オ 配給水施設整備事業	54	1,007,975	16	97,679	1	12,162	898,134	10.9%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数:7)	(測定戸数:9)	(測定戸数:1)	(測定戸数:2)
平均	0.68	0.39	0.44	0.35	0.41
最低	0.56	0.30	0.20	0.24	0.25
最高	0.83	0.46	0.70	0.42	0.53

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H29.6.20	<0.6	<0.9	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H29.6.19	<0.6	<0.7	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H29.6.20	<0.7	<0.8	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H29.6.20	<0.7	<1.0	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 新田配水池の給水区域の拡大を実施

当配水池は、平成26年度に着工し、平成28年4月に供用を開始しました。

当初、南方町の一部(一ノ曲区、狼掛区、沼崎区、畑岡区、柳沢区、青島区、須崎区、平貝区、苔上区、苔下区)、平成29年5月31日から迫町新田の一部(板橋区、駒林区)まで給水区域を拡大しました。

今回、平成29年6月28日午前0時から米山町西野の一部(砥落区)、中津山の一部(清水区、六軒屋敷区、栗ヶ崎区、瀬ヶ崎区、城内区、野手谷地区、齊藤区、千貫区)の777戸(約603m<sup>3</sup>)を拡大しました。

既に給水を行っている区域と合わせ1,818戸(1日あたり約1,404m<sup>3</sup>)に給水しております。

今後もライフラインとして、水の安定供給に努めて参ります。

### 2 第59回水道週間「北上川クリーン作戦」を開催

6月5日(月)午後3時、登米町水辺プラザ船着場に集合し「北上川クリーン作戦」を実施しました。

清掃作業の区域は登米大橋から下り松取水塔までの区間で「母なる川・北上川の水質環境の保全、より安全で良質な水の供給に対する啓蒙を図る」ことをスローガンに、徒歩による作業と船上からの作業のため登米町の「カッパの会」の作業用の船のご協力を得て実施しました。

本活動への参加団体は、登米市管工事事業組合並びに会員、登米市水道お客様センター、明電舎アイケーエス共同企業体、建設コンサルタント、北上川下流工事事務所、カッパの会、水道事業所職員など91名の参加を得ております。皆さんの水に対する関心の深さを感じました。

今後も継続し活動して参ります。

### 3 市内外の小学校から校外学習(施設見学)を受け入れ

5月11日の石巻市須江小学校をかわきりに6月末まで、登米市内外の小学校21校、総勢619名の児童と教員が校外学習として保呂羽浄水場を施設見学しました。

説明は、着水井から一連の浄水場の施設見学を行った後に、管理棟会議室で浄水場の仕組みをろ過実験などで説明し、化学的な浄水の方法のほかバイオアッセイで生物を用いた確認を説明しました。

雨天の際には、中央監視室にて水がどのようにしてきれいな飲める水になるかをビデオによる説明をしております。

今後も積極的に施設見学に協力して参ります。

### 4 平成29年6月の漏水調査結果について

6月末の漏水調査の結果7件13.6m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85.7%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。



漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	5	7.1
	付属施設	0	0
	給水管	2	6.5
	計	7	13.6